

令和2年度 事業報告 施設名 幼保連携型認定こども園 同朋にこにこ園

事業年度	定員(人)		児童数(年平均)		充足率(%)		延長保育利用人数(延人数)				園庭開放他(延人数)
							30分延長	1時間延長	1.5時間延長	2時間延長	
平成28年度	203人	1号 15人	191人	1号 15人	94%	1号 100%	267人	57人	12人	0人	340人
		2,3号 188人		2,3号 176人		2,3号 93%					
平成29年度	203人	1号 15人	194人	1号 20人	96%	1号 130%	187人	74人	4人	0人	163人
		2,3号 188人		2,3号 174人		2,3号 92%					
平成30年度	203人	1号 15人	193人	1号 18人	95%	1号 116%	144人	56人	36人		131人
		2,3号 188人		2,3号 175人		2,3号 93%					
令和元年度	203人	1号 15人	196人	1号 16人	97%	1号 106%	93人	59人	37人		89人
		2,3号 188人		2,3号 180人		2,3号 95%					
令和2年度	203人	1号 15人	195人	1号 13人	96%	1号 87%	80人	55人	22人		109人
		2,3号 188人		2,3号 182人		2,3号 97%					

方針本人	重点目標	計画(P)	実践内容(D)	評価(C)	改善(A)
人権の尊重	・一人一人を認め大切にされた保育を行なう	・保育者が一人一人を大切にすることにより自らが自分、友だち、物を大切にできる気持ちを育てる ・一人一人の人権を尊重し性別や国籍によって区別することのないように保育する ・苦情・相談体制の整備 ・個人情報の保護	・保育者、保護者があいさつを交わし子どもともあいさつを交わす気持ちよさを知らせる ・虐待の防止と早期発見につとめる ・職員の人権尊重教育、権利擁護の実践 ・職員の心得を通して会議で確認	・アンケート記述欄に「すれ違っても先生方のあいさつがほぼないことが多い。」との回答もあるので、細部までの配慮が足りていなかった ・苦情等の申し出が8件あった ・虐待ケースは認められなかった	・自分から先にあいさつをして、全員が意識をもって取り組む ・人権に関する各規程を基に研修を行う ・意見・要望・苦情等が申し出しやすい風通しの良い環境作りに努める(保護者、職員共) ・引き続き虐待の早期発見に努める
サービスの向上	・保護者支援 ・保育内容の充実	・園長、主幹保育教諭は保護者に寄り添い些細な悩みにも対応し安心して子育てができるよう支援する ・行事を通して子どもの成長を共有する ・保護者との連携を密に行いより良い園作りを行う ・発達過程を理解する ・保育内容の充実をはかる ・研修に参加し資質向上を図る	・アンケート(年2回) ・ご意見箱設置 ・キャリアアップ研修の受講 ・園内研修の実施 ・ヒヤリハットを各自月1枚提出 ・手作り玩具を各クラスで作成することで発達段階を知る ・行事の見直しを行った	・年度末のアンケートの回収率は156家庭中133家庭の回答で、85%であった ・全体的に満足しているとのことが多かったが、自由記述では、少人数ではあるがご意見やご要望があった ・ヒヤリハット116件の収集があった ・発達段階を意識することにより、保育内容の充実にもつながった ・キャリアアップ研修はコロナの為参加を見合わせた	・アンケート回収率を100%に近づけていきたい。また、個人のご意見に耳を傾け、より良い園となるよう職員同士話し合い取り組む ・ヒヤリハットを通して職員が危機意識を持ち事故防止に努める ・発達段階を理解することにより保育内容の充実が図られるので今後も継続する
地域との共生	・子育て支援 ・学校・関係機関 ・近隣とのかかわり	・地域の親子対象に園庭開放 ・小中学校等との交流 ・ふれあいのまちづくり協議会等地域の方との交流	・週5回の園庭開放 ・にこにこ広場の実施 ・小学校行事への参加 ・トライやる、ワークキャンプなどの受け入れ ・実習生の受け入れ ・いぶき明生支援学校のキャリアトレーニングの受け入れ ・5歳児が青少協、明生支援学校合同の公園清掃	・園庭開放は実施していたが、にこにこ広場は実施できていない ・トライやる、ワークキャンプ、キャリアトレーニングの実施がなくなった ・実習生の受け入れ時には、アルバイトなど就職につながる言葉をかけたが、アルバイトや就職に繋がっていない ・青少協との清掃は、コロナの影響と天候不順で、年間を通して2回の実施しかできなかった。また、明生支援学校との合同実施できず	・感染予防対策をし、状況にあったプログラムを立案し、園庭開放・にこにこ広場の実施する ・小中学校の行事実施内容を考慮し、小中学校と連携を取り実施に向けて取り組む ・青少協等個別での連絡を大切にしたいいつでも連携が取れるようにしておく
人材育成	・職員の質の向上 ・人材確保	・1年目職員の人材育成 ・就職フェア等で人材確保に努める ・養成校訪問	・1年目職員に新任担当保育教諭を決める ・養成校を訪問するなど交流を図る ・園掲示板、分園(駅)、児童館などに求人広告を掲示する ・人材派遣会社を利用する	・1年目、派遣契約の職員とも担当の保育教諭を通して連携をすることが出来た ・人材確保の為養成校訪問、交流回数は少なかったが実施することはできた ・求人広告を園、児童館の掲示板、西神南駅構内に掲示し非常勤職の確保は出来た	・新任担当保育教諭だけではなく、リーダーや主幹保育教諭も一緒に関わっていく ・実習生の受け入れ等で、積極的に声を掛けアルバイトや就職に繋げていく